

19 管理者(スチュワードシップ)

1 . 主のもの 詩編 24 : 1

2 . 管理者 創世記 1 : 28

3 . 時間 エペソ 5 : 16
安息日

4 . 能力・才能 マタイ 25 : 14, 15
聖霊の必要

「学識、才能、弁舌など、先天的、後天的のいっさいの資質が備わっていても、神の霊の臨在がないならば、人の心に触れることも、罪人をキリストに導くこともできない。その反面、どんなに貧弱で無知な弟子であっても、キリストと結合し、聖霊のたまものを所有しているならば、必ず人びとの心に触れる能力をもつことができる。神は彼らを用いて、宇宙間の最高の感化を及ぼす器となさるのである」(『キリストの実物教訓』302頁)

3つの注意

投射「わたしのようになさい」

昇華「わたしの働きはあなたよりも重要」

否定「わたしには賜物がない」

5 . 財産 マラキ 3 : 10
什一 諸献金

献金について

- 十分の一とささげ物をもって(マラキ書3:8) -

神は私達に十分の一とささげ物をもって宣教の大切な働きを支えるように願っておられます。以下、教会の献金袋の明細表にある献金について考えてみましょう。そして、あなたも祈りのうちに、この恵みの業にチャレンジしてみてください。神が約束された「あふれる恵み」(マラキ書 3:10)を実感しましょう。御使いは、額だけでなく動機も記録しています。

1. 什一

全収入の十分の一を神にお返しするという、聖書に示されている什一の実行は、神が私達に与えてくださった素晴らしい祝福です。什一は「献金」というよりは、私達が生活の全てを神に依存していることの応答です。教団の働き人の給与や伝道のために用いられ、教団の働き人もそこから什一を神にささげています。また什一の 11%が海外の伝道資金として用いられます。

アドバイス ~あなたが収入の総額と純益のどちらかを捧げるか決めかねている場合~

神があなたにしてほしいことを祈り、尋ねてみてください。もし聖霊があなたの心に、総額を捧げるよう勧められるなら、そのように実行し、その結果を神に信頼してください。もしこれについて平安を持っていないなら、純益の 10%を返すことから始め、どうなるかを見てください。数ヵ月後、もし神の積極的な導きを体験したら、総額の 10%、またはそれ以上をお返ししてください。

2. 教会費約束献金

私達の教会の伝道奉仕活動、また、維持・管理・光熱費・昼食代・什器備品などに用いられます。教会に委ねられた宣教使命を果たしていくための大切な献金です。什一の 10%~20%が目安ですが、力に応じてささげましょう。

3. 教会建築献金

信仰を次世代につなぎ、主のご再臨に備えるための会堂の維持と建築に用いられます。主の宮建設のため、まだ参加なさっていない方も是非ご協力下さい。

4. 感謝献金

神様への感謝の気持ちを献金で表したいと思った時、ささげるもので、通常は教団の伝道基金として用いられています。「感謝献金」の欄の全額の頭に「教会」と記していただきますと、教会の教会費献金として用いられます。

5. 放送約束(預言の声)献金

アドベンチストメディアセンターのメディア伝道を支えるための献金です。

6. 神学生奨学基金

三育学院神学科生のため、全国長老会が1口100円献金(1ヶ月)としてスタートした献金です。将来の日本の教会を牧する神学生の学びを支えましょう。

7. アドラ献金

アドラジャパンの国内・海外での災害支援活動や農業開発支援活動、建設支援活動、医療奉仕活動などの資金として用いられます。

その他の献金について

礼拝献金

毎週の礼拝で捧げる献金です。毎週、献金目的が変わりますので、週報でご確認下さい。

安息日学校献金

世界伝道のために用いられます。

安息日学校費用献金

教会の安息日学校のために用いられます。

13回献金

世界伝道のために用いられますが、総額の25%は特別目的地のために用いられます。特別目的地とその伝道計画は聖書研究ガイドに紹介されていますので、ご確認下さい。

誕生日献金

この世に生が与えられたことを感謝し、献身を新たにするための献金で、世界伝道のために用いられます。誕生日にはプレゼントを受けるだけでなく、開拓伝道に献身している宣教師とその家族のことを覚えたいと思います。

聖別献金

世界伝道のために用いられます。特別に何かを決め、1年を通して聖別してその献金を蓄え、12月最初の安息日学校にささげます。たとえば、暗唱聖句を覚えるたびに決まった額をささげるのも良いかもしれません。

献金にはたくさんの種類がありますが、それぞれが信仰に応じて、感謝と喜びをもってささげるものです。そのために、年の初めに献金のための予算を組まれることをお勧めします。皆様の教会生活が主によって豊かに祝福されたものとなりますよう、心よりお祈り致します。

忠実に捧げる人の大いなる7不思議

10%またはそれ以上を忠実に
主の御用のために返し始めると、
次のような驚くべきことが起こるでしょう。

1. 忠実にささげることで、あなたは、他の金銭や持ち物をじょうずに使うようになります。
2. 必要が満たされるために主に頼ることで、あなたの霊的生活が高められます。
3. 残りの十分の九で家計をやりくりする時、平安があります。
4. 10%をささげ始めると、以前には想像できなかったほど、物質主義的な鎖から解放されます。
5. 惜しまない、多くの金額を主の御用のためにささげることができるでしょう。
6. 神は、あなたの物質的、霊的な様々な必要に応えてくださいます。
7. 10%またはそれ以上の献金をしたいと思ったとたん、あなたに驚くべきことが起こります。
(『惜しまない人生への招待』世界総会スチュワードシップ部編 より)

2014年献金目的とその内容

各教会会計の皆様：

いつも教会会計のご奉仕を心から感謝いたします。教会の献金を一年を通して預かり、管理し、会計の奉仕をいただく皆様に、あらためて感謝申し上げます。

献金は目的と目標を定めてなされるものです。今年も、別紙の「2014年の献金目的」で挙げられている礼拝献金について、簡単に説明を致します。昨年と変わっていないところは同じ説明になっている箇所もありますがご容赦願います。

2014年の献金目的で、サインズ献金の日付が変更となりました。2013年は献金日が9月第1週でしたが、2014年は8月2日（8月第1週）に献金日が変更となります。2013年同様、教団に送金いただいてサインズ伝道に用いられます。ご注意をよろしくお願いいたします。

また2012年、2013年の2年間、牧師養成献金として牧師インターンのサポートのために用いられました2月第2週の献金が、再び牧師・教師養成奨学金献金として、次世代育成の奨学金のための献金となります。

ご存知のとおり、セブンスデー・アドベンチスト教団は世界的な伝道組織をもっており、献金についても世界的な規模で献金目的を決めて、その献金を用いています。例えば、世界総会でまとめるアドベンチストワールドラジオ献金、支部でまとめる1000人宣教師献金、日本国内の牧師・教師養成奨学金献金等です。

各教会でささげられた教会保存献金以外の諸献金は、まず教団本部に送られます。その後、献金目的毎にNSDなどそれぞれに送られ、また教団の予算の中に組入れられます。教団の伝道活動並びに、牧師・職員を支るために用いられます。その91%が教団の予算に組み入れられ、世界総会・NSDに9%が送金されます。

日本から世界に送られる献金もありますが、世界から日本に送られて来ている献金の額も相当にあります。特に2013年は、大都市伝道企画のために世界総会から多額の献金が日本に送られ、各地での伝道企画を支えてきました。

また教会保存献金は、皆様の教会の伝道活動や教会堂の維持管理の為に用いる献金です。予算を決め、計画的に用いてくださるようお願いいたします。

内容について何か質問がございましたら、教団教会事務部へお手紙・FAX等でお尋ねください。

2013年12月

教団財務局長 品末光寛

世界全体の為の献金

別紙にある 印の礼拝献金は、各教会から日本の教団本部(教団=JUC)・北アジア太平洋支部(支部=NSD)を通して、世界総会本部(世界総会=GC)へ送られます。

I 安息日学校献金 (別途添付)

II 礼拝献金

1. 「世界伝道献金」 4月12日、7月12日、9月13日。

この「世界伝道献金」は、様々な世界伝道プロジェクトや海外宣教師の為に用いられます。

2. グローバルミッション(年末犠牲)献金 11月8日

今回「グローバルミッション」と献金内容がよりわかりやすくなるように名称を前後させていただきました。毎年11月になされるこの年末犠牲献金は、世界各地のグローバルミッション活動の為に用いられます。日本でもグローバルミッションプログラム及び開拓伝道(パイオニアミッションムーブメント=PMM)の活動の為に用いられています。PMMに係わる費用は、原則、日本教団が25%、韓国教団が25%、支部予算が25%、そして世界総会のグローバルミッション資金からが25%と言う形で負担しています。そのうちの世界総会負担分の一部は、この年末犠牲献金から出されています。

3. 災害援助献金(Disaster and Famine Relief Offering) 5月10日になされるこの献金は、世界中の緊急事態や人道的援助の為に用いられます。

4. アドベンチストワールドラジオ献金 3月8日 この献金は、宣教師が働くことが難しい地域あるいは教会や伝道拠点を建てるににくい国や地域に、ラジオを用いた伝道を展開するため、世界総会は「アドベンチストワールドラジオ(AWR)」という部門を持っています。この献金はその活動を支えるためのもので、皆様もAWRのサイトから番組を聴くことができます。

日本が属する支部(北アジア太平洋支部=NSD)の中で用いられる献金:

1. 1000人宣教師献金 この運動が始まって10年以上経ちました。今年の報告ではこれまでに約6000名の青年がフィリピンで研修を受け、その後ボランティアとしてアジア各地に宣教の目的で出かけています。青年自身が出かけ青年自身が自らの信仰を再確認する機

会にもなっているという報告もなされています。この運動から、多くのバプテスマと教会設立の実が成りました。6月14日の献金は、この千人宣教師運動の為、その準備の研修の為に、支部へ送られ用いられます。

2. アドベンチストミッション献金(支部 50%、国内 50%) 世界中で、また北アジア太平洋支部の中で、伝道の空白区や地域や人々の為の伝道活動や、また近年からは困難な状況にある教会を支えるためにこの献金が用いられます。日本では今年、対馬の開拓伝道、豊田のラテン系在留外国人伝道、千葉国際伝道のために用いられました。来年度もいくつかの計画が立てられています。世界総会・支部・教団(教区)、地元で、その為の資金を負担します。支部負担分と教団負担は、この献金からなされます。1月11日と8月9日が今年の献金日です。
3. 教育伝道特別献金(アジア太平洋国際大学院(AIIAS)) 12月13日 フィリピンに設置されている世界総会所属の大学院では、学生だけでなく多くの現役の牧師の先生方が継続教育の学びをされています。神学だけでなく、教育学、経営学等の修士課程がおかれています。日本からも、神学生だけでなくの現役教師・牧師の方々が継続教育の学びをしています。なおこの献金は全額がNSDに送付されます。

国内(教団内)献金

1. メディア伝道献金 教団の伝道の働きの柱のひとつに「メディアセンター」の働きがあります。この働きは、過去AMラジオ放送(中波)伝道と通信講座を中心に展開してきましたが、現在はラジオの短波放送「光とともに」、AWR-JAPAN、無料の電話フリーダイヤル伝道、インターネット伝道(VPN)へと進展し、VPNの方式も現在一新されつつあります。また大都市伝道企画と併せて、通信講座も一新されました。この部門の働きを支えるために、第5週のある月(3月、5月、8月、11月)がメディア伝道献金日となっています。
2. 教育献金 毎月第3週目は教育献金日です。全国の三育幼稚園(5校)、小学校(10校)、中学校(3校)、高等学校(1校)を支える為に、この献金は全国から集められ、教団教育局を通して各学校へ送られています。少人数制での三育教育は、次世代の信徒子弟の育成、青少年伝道すなわち教育伝道として欠かせません。近年の児童、生徒数の減少は学校の運営を厳しいものとしていますが、全国の教会から子供たちを三育教育のために送っていただくと共に、皆様の祈りと献金で三育教育は支えられています。
3. 次世代育成の為の献金
2014年度は下記の目的となります。
(ア) 牧師・教師養成奨学金献金 次世代の牧師、三育教師を養成するため、全額三育学院カレッジへ送られ、奨学金資金として用いられます。2月8日がこの献金日になりま

す。

- (イ) 信徒子弟奨学金献金 全寮制の三育中学校また三育高校で学ぶ次世代の為に、10月11日がこの献金日になります。若い世代を育てるために、この献金は設定されています。

4. サインズ献金

昨年変更となりましたが、これまで教会で保存してサインズ伝道のために用いていただきました「サインズ献金」を教団へ送金いただき、全額を福音社のサインズ発行継続のための補助といたします。同時にサインズ伝道を今後も継続するため、福音社からサインズを教会に総数一千部、無償で提供いただき、教会のサインズ伝道を継続、進展させていく計画です。サインズの提供方法等詳細は、教区、福音社より連絡させていただきます。なお、今年から8月第1週に献金日に変更となります。

教会保存献金：

1. 教会献金 2000年の教団理事会は、各教会を強めていく為に、礼拝時の教会献金の数を(当時の)年間20回から年間24回にまで順次増やしていくことを決議しました。現在は、毎月二回(8月の第1週は教団への送金となり、年間23回)が教会献金日です。具体的には第一週(8月を除く)と第四週の礼拝献金が教会献金です。教会の伝道活動・維持・教会堂建築の為に資金として、この献金日があります。教会の中では更に、光熱費等の為に教会維持費、伝道資金等に区分されている場合が多いと思います。予算を立てささげられた中で用いることができるよう心がけましょう。

その他：

1. 新年感謝献金(フロントライン伝道者強化企画)
2. 教会維持献金(教会費) = 封筒に入れて毎月ささげる。
3. メディア伝道約束献金
4. 教会小学校約束献金(地域別)
5. その他の約束献金

(以上 2014年度 教会会計用)

世界伝道資金と安息日学校献金

(教会会計配布用)

このページでは、礼拝の時以外の献金である安息日学校献金について説明します。

世界の人口は 2011 年末で 70 億人を超えました。それに対して、世界の SDA の教会員数は 2011 年末の統計で 17,479,890 人となっています。

私たちの教会員は世界中で 1 千 7 百万人を超えました。ただ多くの地域において、人口増加率の方が教会員の増加率を上回っているということも事実ですし、日本のように伝道に伸び悩んでいる地域もあります。

私達セブンスデー・アドベンチストは、この福音宣教の働きを強力に推進するため、世界的・組織的な献金の仕組みを持っています。伝道の働きは国境を越え、宣教師は世界各地へ送られています。日本人の宣教師も戦前はアジア各地(遠くはパラオ諸島にまで)へ、戦後も南米を中心に奉仕されてきました(例えば松並牧師、森規和郎牧師)。それらの世界伝道の働きを財政的に支えるために、什一、世界伝道献金、そして安息日学校献金があります。

世界に宣教師を送るためには、それらの伝道者を養成する部門の強化が不可欠です。安息日学校献金は、それらの分野の教育、とりわけ神学部・医学部・健康教育部の伝道者育成教育を支えるためにも用いられています。

日本でも、多くの額の献金が世界総会から送られてきています。2009 年の十三回献金では 1800 万円の十三回献金が中国語伝道(中国語を話す人たちへの伝道センターの為)の為に世界中から送られてきました。2012 年は名瀬伝道センター建設のために約 1450 万円が送られてきました。名瀬伝道センターは 2013 年 9 月に無事完成しました。2013 年には大都市伝道企画のため 2250 万円の献金が送られてきました。また PMM の為の費用の 50%は世界総会と支部、25%は韓国が負担しています。本場に世界的な献金で日本の伝道は支えられています。

安息日学校献金は、1877 年には始まっていました。最初の頃の宣教の働きは、確かに資金不足との戦いでもありました。各地に出かける伝道者には、最初は財政的な援助がほとんどありませんでした。その各地へ出かける宣教の働きを助ける為に、カリフォルニアとミシガンで週ごとに自由献金をささげることが奨励されたのが、組織的な安息日学校献金の始まりです。その後、各期の末に特に特定の伝道地を定めて献金が呼びかけられ、それが十三回献金の元となっています。

さて安息日学校献金ですが：

毎週の安息日学校献金(十二回の献金) 本来的に世界伝道のために用いられます。日本各地の献金は、教団本部で集計され、支部を通して世界総会に送られます。世界総会では、その献金を「世界伝道資金」に組み入れ、世界伝道のための基本的な財源とします。

第十三回献金 毎年4回ある十三週目の安息日学校献金、すなわち「第十三回」献金は他の十二週の安息日学校献金とは使い方が異なります。毎期末の十三回献金ときは、全額が「世界伝道資金」に組み入れられるのではなく、集計された総額の25%は特定の目的地に送られ、残りの75%は世界伝道資金に組み入れられます。献金の特定の目的地自体は世界の13の支部に順番に割り当てられるので、三年位の間隔で日本も祝福を受けることが出来る事になります。2013年には奄美大島の名瀬伝道センターが、この資金援助も受けて完成しました。

誕生日感謝献金 伝道地と世界中に送られるべき宣教師の数は多いのですが、財源には限りがあります。米国で、この世界伝道を覚え、過ぎし一年の感謝の一部を世界伝道の資金の一部にささげていただくことが19世紀後半に提唱されました。その時は、一歳につき1セントだったそうです。世界中に伝道者を送っている国ならではの提案だといえましょう。私たちも、少なからず世界伝道者を送っており、また現在も受け入れています。誕生日には、プレゼントを受けるだけでなく、遠く開拓伝道をされている宣教師とその家族のことを覚えたいと思います。

聖別献金 伝道地が更に増え、19世紀後半には宣教師を送り出す教区の什一と安息日学校献金だけでは難しくなりました。オレゴンに住む農家の人が、たまねぎ畑の中の10エーカー分の収益を伝道の為に聖別したのが、「聖別献金」の始まりだと言われています。1905年、ミズリー州ハミルトンの安息日学校の先生が5人の生徒達に5セント硬貨を与え、これを何かに投資して増やし、その収益を伝道の為に用いましょうと話しました。ある生徒は、この5セントで卵を買い、ある生徒は野菜の種を買いました。秋には5人に渡した25セントは、11ドルになったと書かれています(Schwarz, pp379)。聖別献金が'Sabbath School Investment'と呼ばれる所以です。日本でも、一本の柿やパパイヤの木の聖別の証を聞いた方もおられる事と思います。聖別献金は、12月第1週になされますが、用意はもっと前からなされるものだということがそれらの説明からわかります。

安息日学校費用献金 各教会の安息日学校の運営の為に費用は、教会費の予算からではなく、「安息日学校費用献金」を安息日学校の中でお願いし、まかなうことになります。この献金は、教団や世界総会に送られる事なく、各教会で保管されます。

以上、簡単に説明しました。何か質問がありましたら教会事務部まで

2013年12月 教団 教会事務部